

## ■地球寒冷化への提言 磯崎 行雄先生



2010年12月4日(土)東京大学三鷹国際学生宿舎で講演会がありました。

地球温暖化より、地球寒冷化の方が怖いとのことでした。過去においては、地球寒冷化が食料の不足を生み民族移動が起こった。

ローマ会議の提言では、2020年に食糧不足が生じる。

2035年には、小氷河期にはいる。

人口削減計画が必要であり、人口増加政策は、あとで大量の餓死者を招くおそれがある。

CO<sub>2</sub>の増加は温暖化と関係はあるが、CO<sub>2</sub>の増加が温暖化をもたらしたのではない。温暖化が、水中に溶けているCO<sub>2</sub>を空気中に排出したに過ぎない。科学的な検証の結果、過去のCO<sub>2</sub>の増加は、気温の上昇のあとに起きていた。過去にCO<sub>2</sub>の増加が地球の温暖化だと提唱した科学者が、発言を取り消したかが、依然としてCO<sub>2</sub>の増加が地球の温暖化の原因のとする主張が多数である。

100年前地球は17億人の人間がいた。

200年前地球は10億人の人間がいた。

この地球の生命体で、人間だけが突出した数の多い存在である。本来は、500万程度ぐらいであるべきである。農耕などの技術進歩が人間の数を増やした。

気候の寒暖は雲の量が、大きく左右している。低空の雲の量は、宇宙線の量にだいたい比例する。地球温暖化会議では、雲の量は一定量に設定された。

### YouTube

- (1) Warming Climate Fraud
- (2) Warming Climate Swindle

以下の問題がまだ説明されていません。

- (1) 北半球夏期の北極海の氷の減少。
- (2) 偏西風の南北間への大きな蛇行。
- (3) 局地的な豪雨、大型台風、大型ハリケーン等の多発。